

2020年6月8日

全労連・全国一般労働組合

中央執行委員長 東中 貢 殿

全労連・全国一般東京地方本部

中央執行委員長 森 治美

同 一般合同労働組合

執行委員長 梶 哲宏

同 東京美々卯分会

分会長 昆野恭久

東京美々卯「全店閉鎖・会社解散」の撤回と

営業の再開を求める個人・団体署名の取り組み要請

うどんすきの名店として知られる東京美々卯は、1973年大阪美々卯ののれん分けという形で誕生して以来、多くのお客様にご愛顧いただきました。1995年全労連・全国一般東京地本一般合同労組東京美々卯分会を結成、活動をスタートしました。当時約150人の従業員ほぼ全員が組合加盟した力を背景に、事前協議合意協定や組合事務所協定を締結し、現在に至っています。

ブラック企業との競争にさらされる飲食店業界の中で、東京美々卯労働者も長時間労働を強いられ、店長の残業時間は年間2000時間以上に上っています。議決権のある株式は43%を大阪美々卯が所有し支配権を握っており、また大阪美々卯の株式は100%美和ホールディングスが所有、3社は一体になって運営されてきました。美和ホールディングスは東京美々卯・京橋店の土地・建物を所有し莫大な家賃収入を得続けてきました。しかし、東京美々卯経営は無借金経営を続けており8億の流動資産の他に固定資産も有する優良企業であると言えます。今般のコロナ禍にあってもデパートの閉鎖による5店舗は休業していましたが京橋の本店は営業を続けており、労働者は自粛解除を目指して奮闘していました。

ところが、4月19日突然「5月20日で全店舗閉鎖、会社清算」「労働者全員自主退職」が発表されました。緊急事態宣言解除を目前にした店舗閉鎖宣言でした。

今般の突然の会社解散の動きは、京橋地域再開発の巨大プロジェクトを通して巨額の利権を得ようとした大阪の(株)美々卯と美和ホールディングスの狙いがあったものと推察しています。労働者の生活と雇用を蔑ろにし資本の側のみが利得を得ようという動きであり、まさにコロナ禍に便乗した会社解散・全員退職であると言えます。

顧客や仕入先、地域の町内会からも営業再開を望む声が寄せられています。東京美々卯の営業再開は、資産と技術者がいれば十分可能です。

営業再開によって雇用を守り、食文化を守るために、東京美々卯、大阪美々卯、美和ホールディングス3社に対して、東京美々卯再開を求める個人と団体の署名に取り組むことといたしました。趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、お願い致します。

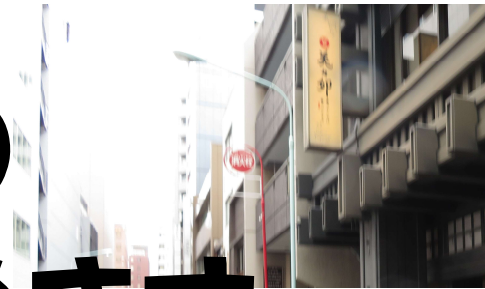
以上

署名の集約は6月30日を一旦の目途とさせていただきます。メールで署名して頂いても結構です。なお、恐縮ですが郵送いただく場合、切手はカンパして頂けますよう、お願い申し上げます。

送付先:全労連・全国一般東京地本一般合同労組「美々卯署名係」mail:ippangodo@muc.biglobe.ne.jp
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-7-13-401 TEL03-5847-0241 fax03-5847-0240

うどんすきの老舗

東京美々卯の 営業再開を求めます



個人・団体署名にご協力下さい

うどんすきの名店として知られる東京美々卯は、1973年大阪美々卯ののれん分けという形で誕生して以来、多くのお客様にご愛顧いただけてきました。食材の仕入れでも全国各地の生産者や事業者様に支えられて東京の「だし文化」の一翼を担ってきたともいえます。経営は楽ではありませんでしたが無借金経営を続けていました。コロナ禍にあってもデパートの閉鎖による5店舗は休業していましたが京橋の本店は営業を続け、従業員は再開を目指して奮闘していました。

ところが、4月19日突然「5月20日で全店舗閉鎖、会社清算」が発表されました。同時に150人の従業員は全員退職を迫られました。緊急事態宣言解除を目前にした店舗閉鎖宣言でした。

東京美々卯は、8億円以上の流動資産を持っており、再開は十分可能です。京橋の本店は再開発計画による移転が検討されていましたが、従業員によれば営業権をもとに今後も事業を継続し、デパートなどのテナント店を含めて継続する計画であったと言います。

美々卯のうどんすきを愛して下さったお客様や応援して下さった皆様、支えて下さった事業者様に應えるために、そして伝統の味と技を受け継いできた労働者の雇用を守るために、東京美々卯経営者、株主の大阪美々卯、大家である美和ホールディングス3社に向けて、東京美々卯再開を決断して頂くために署名を集め、皆さんの声を届けたいと考えます。私たちの想いをぜひご理解いただき、ご協力いただけますようお願い致します。そして趣旨に共感して頂ける皆様に広げて頂ければ幸いです。何卒、宜しくお願い致します。

2020年6月

東京美々卯の再開を求める有志の会（仮称）準備会

呼びかけ人 芹沢 憲一（医師）

野中 郁江（明治大学教授）

木下 茂（日枝神社 御坊講 講元）

長谷川 心一（㈱ティーポス代表：中央区銀座）

梶 哲宏（全労連・全国一般東京地本副委員長）

※署名集約は6月30日を一旦の目途とさせていただきます。メールで署名して頂いても結構です。なお郵送の場合、大変恐縮ですが切手代はカンパして頂ければ幸いです。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-7-13-401（全国一般気付）「美々卯署名係」あて
TEL03-5847-0241 fax03-5847-0240 mail:ippangodo@muc.biglobe.ne.jp

株式会社 美々卯
代表取締役社長 薩摩 和男 殿
美和ホールディングス株式会社
代表取締役社長 薩摩 和男 殿
株式会社 東京美々卯
代表取締役社長 佐藤 俊三 殿

東京美々卯の営業を再開してください

1973年大阪美々卯ののれん分けという形で誕生して以来、東京美々卯は多くのお客様に愛されてきました。全国各地の生産者や目利きの事業者様から厳選された食材を仕入れ、長年東京美々卯の味が支えられてきました。東京の「だし文化」の一翼を担ってきたといえます。また、経営者をはじめ、オーナー、従業員の皆さんの大変な努力で無借金経営を続けてきたと聞き及んでいます。コロナ禍にあってもデパート等商業施設の閉鎖による5店舗は休業していましたが、京橋の本店は営業を続けており、東京美々卯の味を提供し続けてきました。コロナ禍の下でも誠実に働く従業員の皆さんの姿を通して、会社を挙げて緊急事態宣言が開けるのを待って奮闘していらっしゃるものと信じていました。

ところが、5月19日SNSで「東京美々卯が閉店する」という情報が駆け巡りました。緊急事態宣言解除を目前にしたことであり、寝耳に水のニュースでした。長年の顧客への連絡も直前であったとのことで、閉店後の京橋店にたたずむファンからは「お別れする時間も下さらなかった」と、無念の声が聞かれました。

ところが、その後様々なニュース報道によって、閉鎖は従業員にも突然知らされたこと、従業員は全員退職を迫られたことが分かりました。

私たちは、東京美々卯の営業再開を強く願っています。

東京美々卯のうどんすきを愛している者として、応援してきた者として、伝統の味と技を引き継いでいただきたいと強く願います。そのためにも、従業員の皆さんの雇用を守り東京美々卯京橋店での営業を再開していただきたいと強く願います。私たちの想いをぜひご理解頂き、早期に東京美々の営業を再開されるよう、何卒、宜しくお願い致します。

ひとこと

2020年 月 日

氏名または団体名

住所